

授業科目(ナンバリング)		福祉科教育法(QB310)		担当教員 担当形態		脇野幸太郎、種橋征子 オムニバス					
教員免許状取得のための選択の別		福祉：必修		単位数	4単位	開講 年次	3年	展開 方法	講義	開設 時期	通年
科 目		教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）									
各科目に含める ことが必要な事項		・各教科の指導法									
授業のねらい										アクティブ ラーニング の 類 型	
本科目は教育職員免許法施行規則に定められている「教育課程及び指導法に関する科目」であり、そのなかでも「各教科の指導法」（高等学校福祉科目の指導法）について扱う。そして、受講生が教育実習生として実際に高等学校の教壇に立ち、高等学校において「福祉科」を教えることを前提に、そのために必要な知識・技術を修得するとともに、教師としての基本的姿勢を身につけ、それらを通じて福祉の思想を深化させることを目標とする。										①②③④ ⑦⑩⑪	
ホスピタリティを構成する能力		学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率			
専門力		学習指導要領（福祉）の内容及び改訂の趣旨と意義について説明できる。 福祉科教育法の学修を通じて福祉の思想を深化させることができる。				前期レポート 後期レポート		15% 15%			
情報収集、分析力		学習指導案及び授業に必要な教材作成ができる。				学習指導案作成 教材作成 模擬授業		10% 10% 10%			
コミュニケーション力											
協働・課題解決力		教育実習生として教壇に立つための実践的能力を身につけている。				学習指導案作成 教材作成 模擬授業		10% 10% 10%			
多様性理解力		福祉を指導する教師としての基本的な姿勢と心構えを有している。				質問等授業への積極的参加		10%			
出 席						受験要件					
合 計						100%					
評価基準及び評価手段・方法の補足説明											
教育実習に出る実践的能力の形成が求められるので、学習指導案・教材作成及び模擬授業を重視したい（60%）。											
授 業 の 概 要											
前期は、「福祉科」現行カリキュラムの概要の理解を図るための講義を中心とする。 後期は、指導案作成及び模擬授業の実施等、実際に教壇に立つことを前提とした技術の修得を目指して、演習形式でプレゼンテーション、ディスカッションを中心に行う。高校「福祉科」の実際の授業を参観することも予定している。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。											
教 科 書 ・ 参 考 書											
教科書：文部科学省『学習指導要領（福祉）』 参考書：講義中に適宜指示する。 指定図書：教科書と同じ。											
授業外における学修及び学生に期待すること											
前期：この授業を通して、福祉の思想を受講生各人が深化し、福祉を指導する教師の基本的資質を学んで欲しい。 後期：後期は指導案作成及び模擬授業を行い、実習生として教壇に立つための実践的な力を養うことを目的とする。 模擬授業は、1人あたり3回程度を予定しているが、このような少ない模擬授業を実りあるものにするか否かは受講生の準備によるので、しっかりと励んで欲しい。											
回	テ ー マ	授 業 の 内 容				予 習 ・ 復 習					
1	高校福祉科の意義	福祉科設置の目的、高校教育における位置（脇野）				予習：シラバスを読む 復習：福祉科の目的の復習					
2	学習指導要領の理解	学習指導要領の内容及び改訂の趣旨と意義について（脇野）				予習：学習指導要領「第1章総説」を読む 復習：上記の復習					
3	社会福祉基礎の理解1	科目「社会福祉基礎」の概要理解（脇野）				予習：「第2章福祉科の各科目 社会福祉基礎」を読む 復習：左記の復習					

4	社会福祉基礎の理解 2	「社会福祉基礎」の指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 社会福祉基礎」に基づく指導法・教材の検討 復習：指導法・教材の復習
5	介護福祉基礎の理解 1	「介護福祉基礎」の概要理解（脇野）	予習：同上「介護福祉基礎」を読む 復習：上記の復習
6	介護福祉基礎の理解 2	「介護福祉基礎」の指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 介護福祉基礎」の内容を踏まえて指導法・教材の検討 復習：指導法・教材の復習
7	コミュニケーション技術 1	「コミュニケーション技術」の概要理解（脇野）	予習：「同上 コミュニケーション技術」を読む 復習：上記の復習
8	コミュニケーション技術 2	「コミュニケーション技術」の指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 コミュニケーション技術」の内容を踏まえて指導法・教材の検討 復習：指導法・教材の復習
9	生活支援技術	「生活支援技術」理解及び指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 生活支援技術」を読む 復習：上記の復習
10	介護過程	「介護過程」の理解及び指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 介護過程」を読む 復習：上記の復習
11	介護総合演習	「介護総合演習」の理解及び指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 介護総合演習」を読む 復習：上記の復習
12	介護実習	「介護実習」の理解及び指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 介護実習」を読む 復習：上記の復習
13	こころとからだの理解	「こころとからだの理解」の理解及び指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上こころとからだの理解」を読む 復習：上記の復習
14	福祉情報活用	「福祉情報活用」の理解及び指導法・教材の検討（脇野）	予習：「同上 福祉情報活用」を読む 復習：上記の復習
15	前期のまとめ	前期の学習内容を総括し、自己評価を行う（脇野）	レポート作成・提出
16	学習指導案作成 1	学習指導案作成の方法について（種橋）	予習：学習指導案のテーマ・内容を考えておく 復習：作成方法の復習
17	学習指導案作成 2	学習指導案作成及びその添削（種橋）	予習：指導案の作成 復習：添削に基づいて指導案の修正
18	教材研究及び模擬授業 1-1	模擬授業のテーマ及び目標設定（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：テーマ・目標設定の振り返り
19	教材研究及び模擬授業 1-2	模擬授業の展開方法と教材研究（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：授業の展開方法と教材研究の振り返り
20	教材研究及び模擬授業 1-3	模擬授業の実施及び振り返り・講評（種橋）	予習：模擬授業箇所の予習 復習：模擬授業・講評の振り返り
21	教材研究及び模擬授業 2-1	高校福祉科授業参観（種橋）	予習：授業参観箇所の予習 復習：授業参観の振り返り
22	教材研究及び模擬授業 2-2	参観した授業のテーマ・目標の検討（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：テーマ・目標の検討の振り返り
23	教材研究及び模擬授業 2-3	参観した授業の展開方法と使用教材の検討（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：授業の展開方法と使用教材の振り返り
24	教材研究及び模擬授業 3-1	模擬授業のテーマ及び目標設定（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：テーマ・目標設定の振り返り
25	教材研究及び模擬授業 3-2	模擬授業の展開方法と教材研究（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：授業の展開方法と教材研究の振り返り
26	教材研究及び模擬授業 3-3	模擬授業の実施及び振り返り・講評（種橋）	予習：模擬授業箇所の予習 復習：模擬授業・講評の振り返り
27	教材研究及び模擬授業 4-1	模擬授業のテーマ及び目標設定（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：テーマ・目標設定の振り返り
28	教材研究及び模擬授業 4-2	模擬授業の展開方法と教材研究（種橋）	予習：演習課題の準備 復習：授業の展開方法と使用教材の振り返り
29	教材研究及び模擬授業 4-3	模擬授業の実施及び振り返り・講評（種橋）	予習：模擬授業箇所の予習 復習：模擬授業・講評の振り返り
30	まとめ	後期のまとめと、模擬授業における自らの課題を確認する。（種橋）	レポート課題の作成・準備